

アトムの耐切創手袋

HYPERGRIPS®

ハイパーグリップス®

Kevlar®SD

柔軟で高い耐切創性能 Kevlar®SD加工糸使用

高耐切創性

伸縮性

低発塵性

柔軟性

器用さ・繊細さ

フィット感があるハイゲージタイプ！
SD長繊維が毛羽立ちを抑え、軽くてしなやかな手袋

品番 HG-15

品名 ケブラー®SD 15G



品 質	入り数	サイズ
ケブラー®SD長繊維、ポリウレタン	200双 (10双×20)	SS~LL

薄手で高いカットレベルを実現！
高い耐切創性、ソフトな風合いと低発塵性を兼ね備えた手袋

品番 HG-38

品名 ケブラー®SD-SUS 13G



品 質	入り数	サイズ
ケブラー®SD長繊維、ウーリーナイロン、ステンレス鋼線	200双 (10双×20)	S~LL

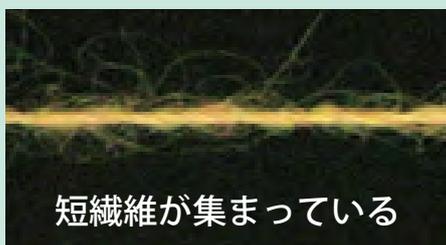
Kevlar®SD



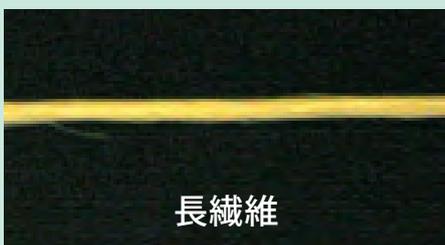
◆ケブラー® SD長繊維手袋の特長

ケブラー®の持つ高強度、耐切創性を維持しつつ、ホコリの原因となる毛羽立ちを抑えたアトム独自の加工系です。「フィット感」「軽さ」「低発塵」があり、紡績糸では対応できなかった細か作業やホコリを嫌う現場で切創事故を未然に防ぐ保護手袋です。

ケブラー® 紡績糸



ケブラー® SD糸



Kevlar®SD 加工糸の特長

柔軟性

器用さ・繊細さ

より高い耐切創性

耐切創性を要する
クリーンで繊細な
作業手袋に適した
新素材です。

耐切創レベルについて

EN388:2003ではクープレスト(丸刃回転試験)だけでしたが2016年度版では新たに平刃を用いた試験法のISO13997TDM試験が加わり、それに伴い耐切創レベル表記も従来の1~5段階からA~Fの6段階が加わりました。当社はより精度の高い評価基準を採用、ユーザーにわかりやすくより安全性の高い選択をしていただく為、レベル表記を下記の通り変更いたしました。

■耐切創レベル表記

レベル 表記	レベル A	レベル B	レベル C	レベル D	レベル E	レベル F
TDM (N)	2 ≤	5 ≤	10 ≤	15 ≤	22 ≤	30 ≤

※耐切創評価は6段階でA⇒Fに向かうほど耐切創能力が高くなります。

■ ISO 13997 TDM 試験

試験用刃物(平刃)を用い、刃物のスライド移動距離20mm長で試験片が貫通する際の荷重を切創力N(ニュートン)で表し、この数値が大きいほど切れにくいことを示します。



試験刃(平刃)



アトム株式会社

本社 〒729-2317 広島県竹原市忠海東町4丁目2番1号

TEL: 0846-26-0021 FAX: 0846-26-2561

上野オフィス 〒113-0034 東京都文京区湯島3丁目31番1号 中川ビル5F 503号

TEL: 03-5817-8701 FAX: 03-5817-8702

ホームページ <https://www.atom-glove.co.jp>

※印刷により商品の色が異なって見える場合がありますので予めご了承ください。